



久保 貴洋 議員
(倉生会)



道路整備を行う際の基準について

Q 道路整備を行うための優先順位及び道路整備基準はあるのか。もしなければ、これまで以上に透明性と公平性を確保し、より効果的な事業の遂行を図るため、早急に道路整備基準を策定してほしいと思うが、策定の予定や考えがあるのか伺いたい。

A 都市建設部長

これまでは道路整備についての優先順位を決定するような明確な基準がなく、基準を設けることは本市としても非常に重要だと認識しています。そこで、整備対象及び技術基準、地元町会からの要望の手続方法や書類様式、優先順位を評価するために必要な指標などを定めた、市道の整備及び要望の採択に係る基準を現在策定中であり、令和5年度からの運用開始を予定しているところ です。

その他の質問

☆クリケットについて
☆閉校となった学校跡地の活用について



長浜 成仁 議員
(政友みらい)



『奥佐野』について

Q 奥佐野において行われている事業や観光資源を、本市の魅力として今後どのように活用されるのか伺いたい。

A 市長

今後は、中山間地域にある様々な観光資源の魅力の情報発信やイベント等への支援、協力を行い、さらなる中山間地域の活性化、交流人口の増加に努めていきます。また、サイクルタウンさの推進委員会などと連携を図り、本市の中山間地域の愛称として親しみやすい奥佐野という言葉を大切に広め、本市への観光誘客、奥佐野への観光誘客につながるよう活用していきたいと考えています。今後、この総称した奥佐野という言葉は、行政の中でも、行政用語とは別として一般的に使っていただければと思っています。

その他の質問

☆ヒトパピロームウイルス(HPV)ワクチンについて
☆令和5年度佐野市行政経営方針における令和5年度の取組について
☆拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律の運用について



横井 帝之 議員
(新風)



佐野市ゼロカーボンシティの取り組みについて

Q ゼロカーボンシティを目指すためには、身近なところから広く受け入れられるための取り組みによる意識啓発が必要である。3Rとは、ごみを減らすために行うリデュース、繰り返し使うためのリユース、そしてリサイクルのことだが、その中で市民が取り組みやすいマイバッグ、マイボトル、マイはし、マイストローなどの使用をはじめとした3R運動の啓発について伺いたい。

A 市民生活部長

日々の生活において、マイバッグなどの使用や食品ロスの削減などによるごみの発生抑制などは、ゼロカーボンシティの実現に大きな関わりを持つものと考えています。ゼロカーボンシティ宣言を契機とし、今後ごみの発生抑制と資源の有効活用を目指す3R運動の積極的な啓発に取り組むことで、市民の脱炭素意識の醸成を図っていききたいと考えています。

その他の質問

☆DX(デジタルトランスフォーメーション)事業について

